

区議会レポート

93号



葛飾区議会議員 かわごえ誠一

本号の内容

表面：第一回定例会開会など

裏面：一般質問概要

予算審査特別委員会報告

2023年3月20日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

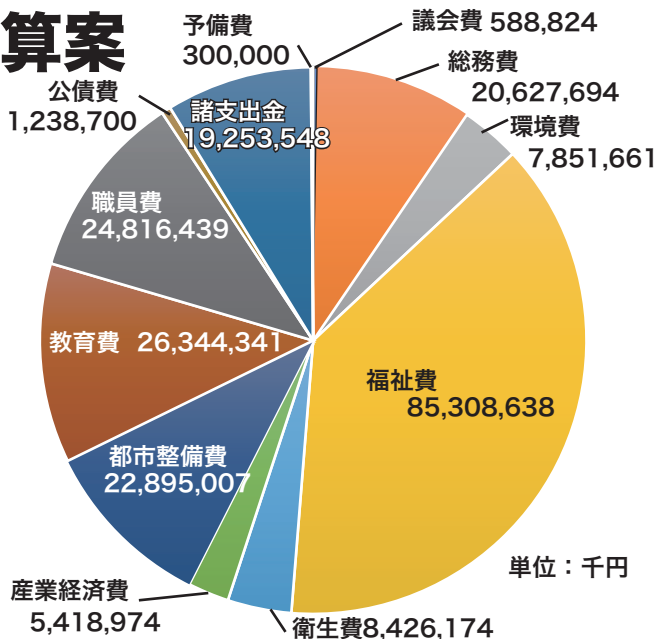
電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

令和5年葛飾区議会第1回定例会開会

令和5年度一般会計当初予算案 2,230億7千万円計上

◆2月15日に令和5年葛飾区議会第一回定例会が3月29日までの43日間の会期で開会しました。◆今定例会では令和5年度一般会計予算案2,230億7千万円が計上されました。今回の予算案は企業収益などが好調のため税収増が見込まれ、前年度比5.2%増の過去最大規模の予算編成となりました。◆3月3日の予算審査特別委員会総括質疑を皮切りに、款別に設けられた四つの分科会に分かれて審査され、3月13日に採決し、可決されました。◆今回、用地特別会計が設けられ、サッカースタジアム建設を前提にした新小岩の私学事業団総合運動場の用地取得に向けて動き出しました。◆今回の予算では学校給食費無償化、児童相談所開設、くらしのまるごと相談窓口、空き家相談窓口、こち亀観光施設整備、带状疱疹予防接種の助成などが盛り込まれました。



◆ 第一回定例会トピックス ◆

- ◆区営住宅条例の一部を改正する条例等 東京都のパートナーシップ条例の策定を受け、葛飾区でも区営住宅などの入居資格にパートナーシップ関係が加えられました。
- ◆歩きスマホ防止条例素案 事故を起こす危険性の高い「歩きスマホ」を防止するための条例を策定します。
- ◆かつしか出産応援給付事業 出産した方へ一律5万円給付。

- ◆SDGs推進計画案 パブリックコメントを経てSDGs推進計画案が報告され、4月からSDGsに向けて取組みがさらに進められます。
- ◆高卒認定試験合格支援講座受講費助成 高校中退した若者を支援するため、高卒認定試験受験への講座費用の一部を助成します。
- ◆ヤングケアラーピアサポート活動支援費助成 ヤングケアラーの当事者同士などが相談し合える環境整備への支援を実施します。
- ◆東四つ木地域学校適正規模の方向性 学校適正規模を木根川小学校のみでなく、渋江小学校・中川中学校の三校を一体で検討します。

■ かわごえ誠一連絡先 ■

〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動は Facebook をご覧ください。

◆ かわごえ誠一プロフィール ◆

●1963年3月川崎市生まれ ●立石在住34年 ●防災士 ●東海大学第二工学部建設工学科卒業 ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団班長 ●葛飾区ポッチャ協会会長 ●学童保育クラブ増設運動、保田養護学校存続運動、三番瀬保全活動、保育園、学童保育クラブ父母会、小・中PTA連合会、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワークなどに携わる ●元都議会議員秘書を経て2013年区議会議員選挙で初当選・2021年三期目当選 ●議会議員所属：建設環境委員会委員長・区民サービス向上対策特別委員会・議会運営委員会など



かわごえ誠一、本会議にて一般質問に登壇

◆2月28日の本会議においてかわごえが一般質問に登壇しました。一部を掲載します。

- 3：誰一人取り残さない「くらしのまるごと支援」体制について
答弁◆8050問題やヤングケアラー等家族全体への支援体制を整備◆くらしのまるごと支援事業を進める中で条例化を検討。
- 4：子どもの権利と子ども・子育て・若者支援体制について
答弁◆子どもの権利条例の制定には、子どもや支援者の意見を反映させる◆若者の課題を明確にし子ども・若者計画で取組む。
- 5：誰一人取り残さない学びのための教育環境整備について
答弁◆校則を学校のホームページで公開◆子ども読書計画の検討。
- 6：環境政策について
答弁◆二地域とカーボンオフセットなど地域間連携を実施。◆水元公園でのエコツーリズムの可能性を関係団体等と検討。

1：区の個人情報と公文書管理について

答弁◆専門家からなる準備委員会を設置し、令和6年度に公文書管理条例が施行できるように進める。

2：将来を見据えた立石のまちづくりについて

答弁◆北口再開発事業は明渡し・解体・整地工事完了後、令和6年6月に建築工事着手、令和10年10月に完了予定◆立石の歴史の記録化への支援を検討する。

区議会令和5年度予算審査特別委員会報告

◆第一回定例会では予算審査特別委員会が設置され、令和5年度予算案について、四つの分科会に分れ審議されました。かわごえ誠一は環境費・都市整備費を審査する第三分科会（3月7日開催）と、教育費と各特別会計などを審査する第四分科会（3月8日開催）に所属しました。以下、分科会でのかわごえの発言要旨を報告します。

◆第三分科会（環境費・都市整備費）

■ 環境費 ■

● 環境推進費

◆環境審議会運営は様々な関係機関・関係団体による実効性のある体制を求めるとともに、若者の参加に期待する。また、現在葛飾区では雨水利用に関する施策が無くなっているが、環境審議会での審議を求める。

◆再生可能エネルギー導入目標策定業務支援はゼロエミッション実現の基礎とするための調査に期待し、脱炭素先行地域の実現を求める。

◆外来種対策は6月の外来生物法の改正でミシシippアカミミガメ・アメリカザリガニの規制が強化されるが、飼育している区民が水元小合溜や川へ投棄することのないように周知を求める。

● 清掃費

◆ごみ収集作業では全プラスチックリサイクルの課題を検証し、東京都からの助成の期限を待たずに早期の実現を求める。

■ 都市整備費 ■

● 都市整備管理費

◆都市計画マスタープランは今後進む立石再開発などのまちづくりへの住民参加を進めるため、「区民参加による街づくり推進条例」の改定などを求める。

◆空家対策は不動産流通に乗らない空き家の課題を把握し、相談窓口を活用してのマッチングに期待する。また空き家へのリノベーションへの支援を求める。

● 街づくり費

◆京成押上線連続立体交差事業では地域のランドマークとなるよう立石駅舎の設計を京成電鉄と協議するよう求める。

● 河川費

◆水元小合溜環境改善では水元小合溜での外来種の防除を求めるとともに、環境省指定の重要湿地であることの周知を求める。

● 公園費

◆葛飾あらかわ水辺公園はドッグランなどの導入などとともにピオトープの管理をするためパークPFI等の検討を求める。

◆公園維持管理での青戸南自然の広場のピオトープの再整備の具体化を求める。隣接する中川（高砂より上流部）の護岸整備を進め、連携した環境整備を求める。

◆第四分科会（教育費・特別会計他）

■ 教育費 ■

● 教育総務費

◆教育振興基本計画策定では、文科省の生徒指導提要にも盛り込まれた子どもの権利を踏まえた教育振興基本計画の策定を求める。

◆教育研究奨励事業では研究指定校での研究を評価する。研究成果を広く共有するため教育委員会として研究資料の保存・公開を求める。

◆教育情報化推進での一人一台タブレットは児童・生徒とともに、授業に携わる教員や学校司書・講師などへも配備し、授業の充実を求める。

◆学習センター・学校図書館は書架が廊下に置かれ、図書資料の管理ができていない学校があり、改築校との環境格差が生じている。子どもの学習環境に差が生じないよう、教育委員会として全校での学習センター・学校図書館の環境整備を求める。

◆総合教育センターは、拡大する業務を検証し、多様な事業に対応できる体制整備を求める。また、学校への緊急対応への支援などは会計年度任用職員が多数を占める体制では限界があり、緊急支援など危機対応を前提にした体制整備を求める。

● 小学校費・中学校費

◆校舎等バリアフリー化では小・中学校の校舎・体育館の段差が解消されず、障がい児の受け入れや、避難所での高齢者の対応ができない状況がある。バリアフリー法改正に基づき校舎・体育館のスロープ設置、またはスロープ備品の配備を急ぐことを求める。

● 社会教育費

◆PTA研修では、既存のPTA支援から社会教育団体としての学びの支援への転換が必要であり、支援のあり方の検討を求める。

◆文化財保護は立石の歴史保存について、ボランティアや民間研究者などとの具体的な連携協働を求める。

◆わくわくチャレンジ広場は、学校ごとの地域状況に違いがあるが、現状把握をした上で、教育委員会としての方向性を示せ。

◆学童保育クラブは校内整備にこだわらず、待機児童対策を求める。

● 社会体育費

◆スポーツ振興計画は、将来的に教育振興基本計画との統合の検討を求める。

◆障害者スポーツ振興は指導者の派遣制度の整備を求める。